

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|----|---|----|---------------|-----|--------------------------|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 広いフロアを設置、パーテーション個室あり |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 個別対応必要児にたいして職員を配置 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | エレベーターあり、フラットな環境 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 定期的なスタッフミーティングを実施 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | | ○ | | ニーズに対して可能な限り実施を検討する |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 30年度より実施。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | ○ | | | 第三者をたて外部評価、指導をうける |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 定期的なスタッフミーティングを実施 |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 定期的な面談、電話相談を実施 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | | | 個別ファイルにて事業所内にて使用 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 月ごとの活動内容の設定を行う。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | | ○ | | 定期的なプログラムあり、固定化されてるところあり |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 休日には外出、調理等のプログラムを実施 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 1日ごと個別、集団と別プログラムを実施 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 開所ごと事前打ち合わせを実施 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | | ○ | | 送迎の関係上難しい事あり、翌日に実施もあり。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 個別記録への記入、周知。職員で共有。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|-----------------------|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 定期的な面談、電話でのアセスメント実施。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | | ○ | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 児発管、または管理者が参加。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | | ○ | | 学校によるが実施。保護者と密に実施。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | ○ | | 対象児なし、受け入れ時に実施。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | | ○ | 今後改善を行う |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | ○ | | 対象児なし、対象者あり時に実施。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | ○ | | 過去、研修を実施。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | ○ | | | 外出時に外出先にて交流、共有。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | ○ | | 可能な範囲で参加を行う。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | より密な連絡、アセスメント等を実施を目指す |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | | ○ | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | | ○ | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | ○ | 今後改善、実施の検討を行う。 |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|---|-----------------------|
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 可能な限りに対応を迅速に行う。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | マイ月お便りを発行。フェイスブックにて発信 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 鍵付き書庫にて管理。職員への徹底。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | | ○ | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | | ○ | | 保護者への再度周知を行う。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | マニュアルを事業所内提示、避難訓練実施 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 社内研修にて実施。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | | ○ | 事案なし |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | アセスメントにて確認、職員へ周知、個別対応 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | ファイルを作成し閲覧可。共有。 |